

## THE LATEST NEWS

### ▶ 米NGO団体による「LGBTQの平等性評価」において、10年連続で“最高の職場”に選出

MGMは、米国のLGBTQ団体であるヒューマン・ライツ・キャンペーンが実施するLGBTQの企業平等指数調査で、10年連続で最高値の100点を獲得。LGBTQの平等性において最高の職場として米国の主要企業767社の仲間入りを果たしました。ヒューマン・ライツ・キャンペーンは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィアの人々の平等を実現するために活動するNGO団体で、LGBTQの人々が家庭、職場、そしてあらゆるコミュニティにおいて世界の一員として受け入れられる世界をめざして活動しています。

### ▶ Forbesが選ぶ「2021年 世界で最も称賛される企業」にランクイン

MGMは、Forbesが選ぶ「2021年 世界で最も称賛される企業」の調査における「ホテル・カジノ・リゾート」のカテゴリーで世界最高位にランクインしました。このランキングは投資価値や経営、提供する商品、サービスの質、社会的責任、人材を惹きつける能力など、9つの基準でそれぞれの業界の企業を評価し発表するものです。

## MONTHLY FEATURE

今こそ押さえておきたい

# MICEの世界

### MICEを開催する意義とは？

MICEとは、

- ・ Meeting (企業などの会議)
- ・ Incentive Travel (企業などが行う報奨旅行や研修旅行)
- ・ Convention (国際機関、団体、学会などが行う国際会議)
- ・ Exhibition/Event (展示会、見本市、イベント)

というビジネスイベントの頭文字をとった略称です。

MICEは、イベント参加者による支出から得られる高い経済波及効果を生み出すだけでなく、ビジネスやイノベーションの創出、都市のブランド力向上など、開催地にさまざまなメリットをもたらすため、世界各国が誘致に向けた取り組みを行っています。ラスベガスについていえば、**MICE目的の来訪者の平均消費支出は、観光目的の来訪者より18%も高いことがわかっています。**<sup>\*1</sup> さらに、2019年の訪問者数約4,250万人のうち、MICE来訪者は約660万人と約15%を占めており、その波及効果を含めると合計で67,000人の雇用、31億ドルの賃金、114億ドルもの経済効果を生み出していると試算されています。



### なぜラスベガスでMICEが発展したのか？

これほどまでにラスベガスがMICEの開催地として選ばれる理由は、気候の良さ、空港から近いアクセス、最先端の設備、有名シェフによるダイニングや、魅力的なエンターテインメントによるホスピタリティなどが挙げられます。MICEがラスベガスで開催される場合、他の都市で開催する場合と比較し、平均して出席者数が8%<sup>\*2</sup>増加することがわかっています。

MGMのIR施設では、ラスベガスの中心通りであるストリップから6.8キロ圏内で大規模なMICE施設を複数運営、**総面積371,612 m<sup>2</sup>の会議・展示スペースを有しており、これは、ニューヨーク州マンハッタン市にある全ての展示スペース面積を上回ります。**



<sup>\*1</sup>\*2ラスベガス観光局調べ

# NEWSLETTER MGM MOMENT



## CESを支えるMGMのMICE施設

ラスベガスで行われるMICEイベントの中で日本人に一番馴染みが深いのが、世界最大のテクノロジー見本市である「CES」ではないでしょうか。毎年1月に開催されるこの展示会イベントは、日本からも多くの人が訪れ、この時期には日本からラスベガスへの直行便が飛ぶほど影響力のある催しです。1967年の第1回開催から、50年以上続く歴史あるこの展示会は、今や4500を超える企業が出展し、160以上の国から17万5千人を超える人が訪れます（2020年のデータ。2021年はコロナの影響を受けオンライン開催）。「Mandalay Bay」をはじめとしたMGMのMICE施設はCESの重要な拠点として活用されており、CESの開催において不可欠な存在となっています。



## 世界最高水準の MICEディステイネーションの実現をめざして

日本では、「MICE誘致の促進」が観光立国実現に向けた主要な柱の一つとして位置付けられています。なかでも大阪府・市は、日本のMICE誘致競争を牽引できる実力ある都市の育成を担う「グローバルMICE都市」の1つとして選定されています。現状、大阪における国際会議開催件数は増加の傾向にあるものの、都市の経済規模やインフラの整備状況を鑑みると、世界的・国内的に別都市と比較しても少ない状況となっているため、未だ大きなポテンシャルを秘めた都市であるといえます。MGMは、世界最高水準のMICE施設を含む魅力的なIRを大阪で実現し、大阪の経済活性化や都市の魅力向上に寄与することをめざしています。



## MGM TIPS MICEイベントに欠かせない巨大IR「マンダレイ・ベイ」

南国のリゾートをモチーフにしたこのIRには、波の出る巨大なプールや人工の砂浜があります。絶滅危機にあるウミガメや、コモドドラゴン、サメを含む合計100種類もの生物を見ることのできる水族館も併設しており、大人だけでなく子どもも楽しめる施設となっています。また、ラスベガス最大級、北米で5番目の規模を誇るMICE施設として18.5万㎡の会議・展示スペースを備えており、CESをはじめとした大規模な国際会議や展示イベントには欠かせない重要な施設としても有名です。併設するホテル別館の「Delano」と「Four Seasons」の客室数を合わせると、総客室数は4,700室にも及びます。



ここが砂浜のラスベガスであることを忘れさせるような、波の出るプール



「Shark Reef Aquarium」にはサメと一緒に泳げるプログラムも

## MGM in SOCIETY 環境に優しいIRの建築、運営



MGMが運営する施設のうち、MGMスプリングフィールドが「LEEDプラチナ認証」を、MGMナショナルハーバー、アリア、T-モバイルアリーナを含む9つの施設が「LEEDゴールド認証」を持っています。LEED（リード）とは、Leadership in Energy and Environmental Designの頭文字を意味し、『環境に配慮された優れた建築にまつわる先導的な取り組み』を評価する国際的な認証プログラムです。評価基準として「水の効率的な利用」「環境に優しいエネルギーの利用」「材料と資源の有効活用」などがあり、例えばマサチューセッツ州にあるIR「MGMスプリングフィールド」では、8階にある駐車場に1.13MWの太陽光発電パネルを設置したことが評価されました。この太陽光発電により、同施設の年間の二酸化炭素排出量を約410トン削減することができます。

